

## あかぎ防災キャンプ

主催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
趣旨	次代を担う人材の育成、防災意識と社会参画意識のさらなる向上を目指し、これからの防災・減災の担い手である中学生、高校生を中心とした防災キャンプを開催し、防災ジュニアリーダーを育成することを目的とする。
対象	小学校5～6年生、中学校1～3年生、高等学校1～3年生
定員	20名程度 ※最少催行人数5名。応募者多数の場合は抽選いたします。
日時	令和6年1月27日(土)～28日(日)
会場	国立赤城青少年交流の家(群馬県前橋市富士見町赤城山27)
アクセス	自家用車:前橋市街地より30分、関越自動車道 赤城ICより20分
参加費	2,000円程度 内訳:食事代(非常食1回、食堂1回)、シーツ洗濯代、保険代、雑費 ※参加決定後にキャンセルや欠席となった場合には、一部キャンセル料が発生いたします。
募集期間	令和5年12月15日(金)～令和6年1月5日(金)17:00まで
応募方法	<p>当施設のホームページの教育事業またはインフォメーションにアクセスして、WEB申し込みフォームにて応募してください。下記QRコードからもお申し込みいただけます。</p>  <p>※参加が決定した方には、詳細な案内をメールにてお送りいたします。 ※抽選を実施した場合には、締め切り1週間後を目処に、抽選結果を申込者全員にメールにてお知らせいたします。</p>
後援	群馬県教育委員会(予定)、前橋市教育委員会(予定)
個人情報等の取扱いについて	ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務及び当交流の家主催の事業案内の送付のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。本事業中に撮影した画像・動画・制作物・感想文等を当交流の家・国立青少年教育振興機構・関係教育機関等の事業報告書・広報物・インターネット媒体(ホームページ等)へ使用することがありますので、ご了承ください。ご都合が悪い場合は事前にご連絡ください。
その他	プログラムや講師等については、予告なく変更することがあることを予めご了承ください。

## ◆主な日程

1/27	土	13:00 13:15 13:45 14:15											16:30 17:00 17:30 18:00				19:00		20:30		22:00
		受付	開講式	起震車 体験	避難所設営体験 避難所体験		荷物 移動	夕への つどい	避難所 体験	防災食	入浴アイテム体験 避難所片付け 宿泊棟へ移動		入浴	就寝準備	就寝						
		研修室		バス 駐車場	研修室	剣道場	宿泊棟	体育館	剣道場			浴室棟	宿泊棟	宿泊棟							
1/28	日	6:00		7:00	7:30	8:00	8:45		11:30				11:45								
		起床	洗面 清掃	朝の つどい	朝食	退所点検 荷物移動	風水害プログラム 振り返り		開講式	解散											
		宿泊棟	体育館	食堂	宿泊棟	研修室															

- ・着替え、洗面用具など通常の宿泊に必要な持ち物に加えて、避難所生活に必要なと思うものを3つ持参してください。ただし、水、食料、貴重品は除きます。

## ◆主な内容

内容と形態	講師及び担当
「起震車体験」 地震体験車に乗り、実際の震度を体験します。	前橋市防災危機管理課 職員
「避難所設営」 防災に関する講義を受け、ダンボール、銀マット、毛布などを使って、剣道場に寝床を作ります。	群馬大学 教授 金井 昌信 氏
「避難所体験」 設営した避難所で過ごします。	国立赤城青少年交流の家 職員
「防災食」 アルファーマイとレトルトカレーでカレーライスを作ります。	国立赤城青少年交流の家 職員
「入浴アイテム体験」 ボディーシートで身体を拭き、ドライシャンプーで頭を洗う体験をします。	国立赤城青少年交流の家 職員
「風水害プログラム」 専門機関と連携して、特に風水害に関する防災について学びます。	前橋市消防局 職員
「振り返り」 持参した3つのものについて紹介し合います。このキャンプで学んだことをどのように活かすか、災害時に自分ができることは何かを考えます。群馬大学の金井教授からアドバイスをいただきます。	群馬大学 教授 金井 昌信 氏 国立赤城青少年交流の家 職員

## ◆お問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家

TEL:027-289-7224 FAX:027-289-7226 E-mail:akagi-kikaku@niye.go.jp

URL:https://akagi.niye.go.jp/ 担当：杉山・竹内・中谷